

コール・トレンド —統計が語る石炭需給・価格の動向—

～価格の方向性に転換の兆しが～

電力・石炭ユニット 担任・理事 森田 浩仁

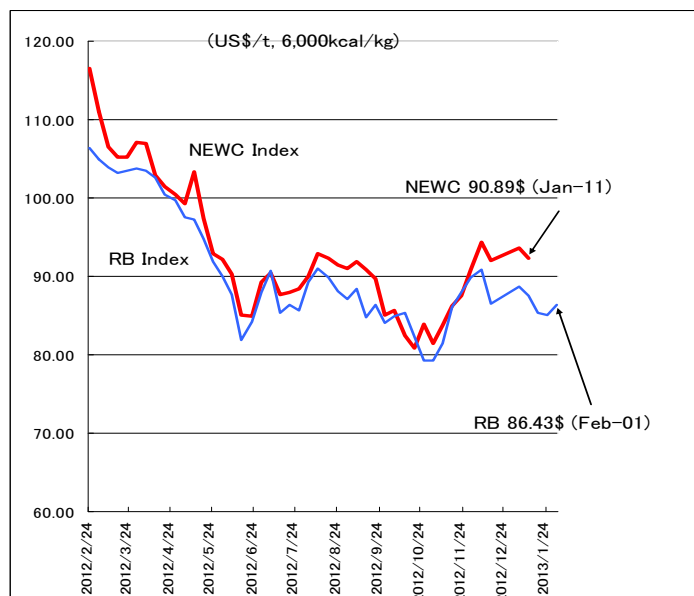
2011年当初から下降を続けてきた一般炭価格は(豪州・ニューカッスル港 (NEWC)、南アフリカ・リチャーズベイ港 (RB) 出し)、2012年5月以降80-90 US\$/トンのボックス圏で推移してきたが、2012年11月末になり、NEWC出しはボックス圏を上方へつきぬけた。一方、RB出し価格は再びボックス圏での上下動を繰り返している(図1.)。

1. 豪州、南アのスポット価格と我が国着価格
—再び下降を始めた入着価格—

(1) 豪州、南アの一般炭実物取引価格の動向 (2013年1-2月)

図1.はNEWC、RB Indexの推移を示している。

図1. globalCOALのNEWC IndexとRB Indexの推移

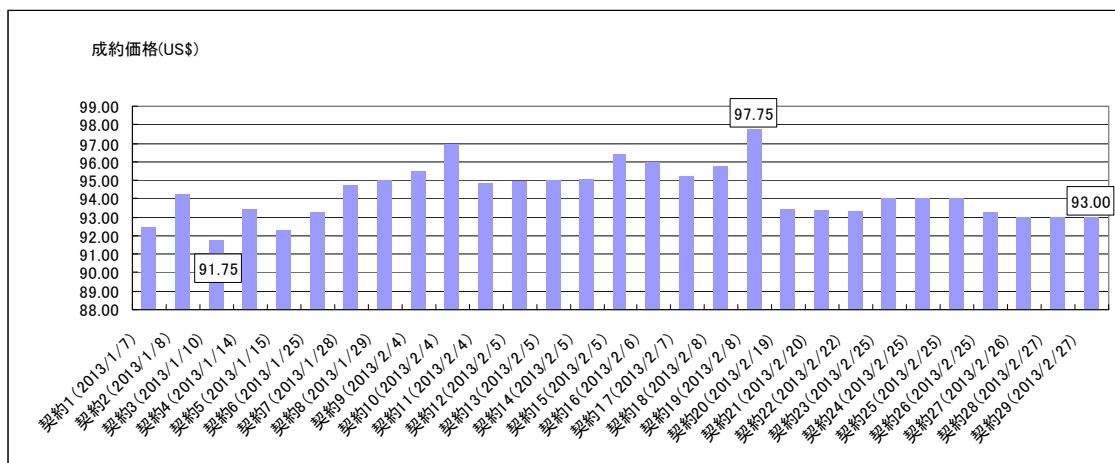


注) NEWC Index : オーストラリア NSW 州ニューカッスル港出し一般炭 FOB 価格(6,000kcal/kg net)
 RB Index : 南アフリカリチャーズベイ港出し一般炭 FOB 価格(6,000kcal/kg net)
 出所) globalCOAL

NEWC Index は 80-90 US\$/トンのボックス圏から上方へ突き抜けたかに見える。一方、RB Index はもとのボックス内での推移を続けている。

図 2. は豪州ニューカッスルの 1-2 月におけるスポット実物取引の成約価格を時系列的に示したものである。

図 2. 豪州ニューカッスル港積み成約取引価格 (2013 年 1-2 月、実物)



出所) globalCOAL 資料より作成

ニューカッスルにおいては、2013年1-2月の2ヶ月間において29件の実物取引が記録されている。

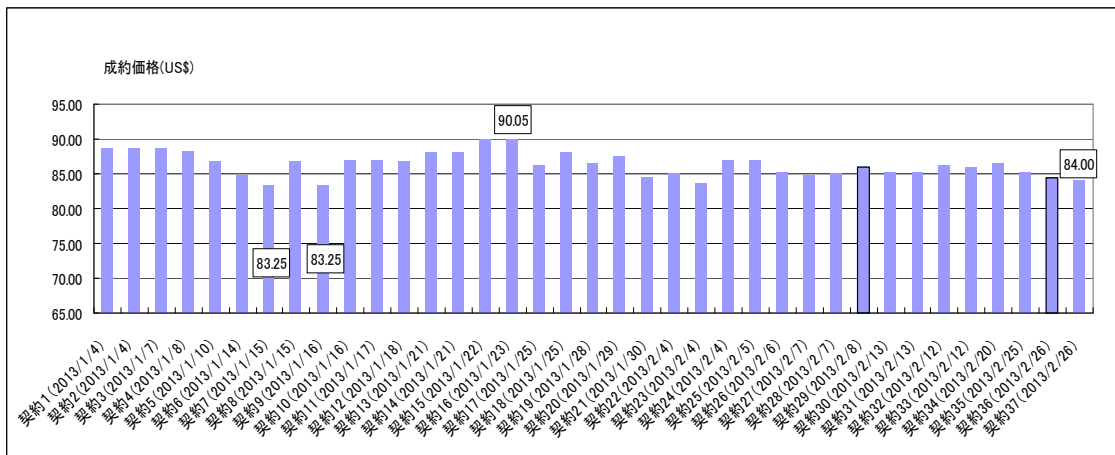
最低価格は1月10日につけた91.75 US\$/トン、最高値が2月8日の97.75 US\$/トンであり、2月最後の取引は2月27日に93 US\$/トンで取引を終えている。

昨年12月の実物取引の最低価格が90.50 US\$/トン、最高が96.00 US\$/トンであったことをあわせてみると、NEWC 出し価格は昨年中旬~11月末まで続いた80-90 US\$/トンから90-100 US\$/トンのボックス圏に移行したと見てよいだろう。

一方、RB 積み価格は、2013年1-2月においては37件の成約案件のすべてが83.25 - 90.05 US\$/トンの範囲内で取引された。昨年中旬以降と同様に80-90 US\$/トンのボックス圏での取引を継続中ということである。

今後、NEWC 出し価格に追随し、上方のボックス圏に移行するのだろうか。いや、需給の緩んだ欧州市場でこれ以上シェアを失うことを回避するためには価格競争力の堅持が必要とされるのであろうか。同時に、EUからの退却、アジアでの市場確保のためには豪州炭との価格差は必要とされるということか。

図 3. 南アフリカリチャーズベイ港積み成約取引価格（2013年1-2月、実物）

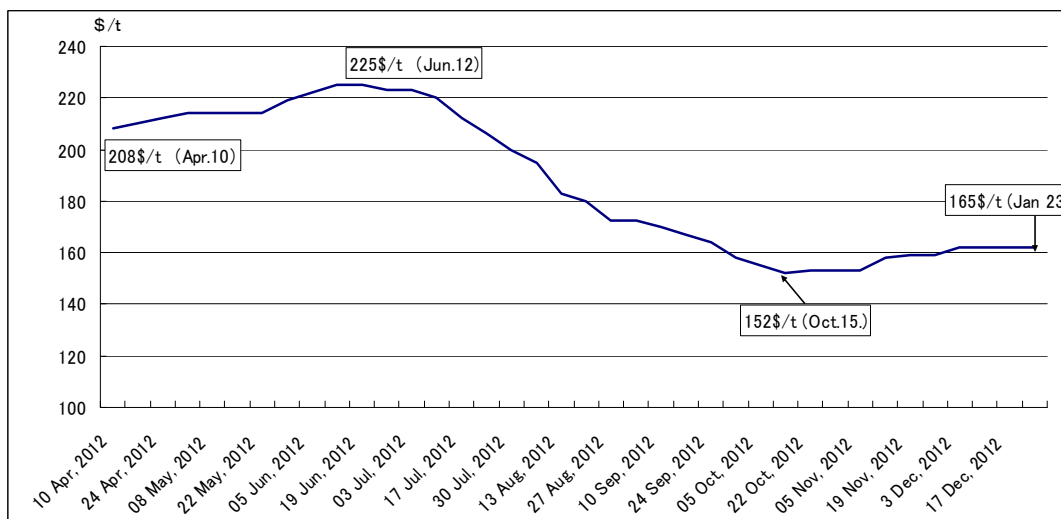


出所) globalCOAL 資料より作成

(2) 原料炭スポット指標 (Index) 価格の動向

図 4. は CCQ(Coking Coal Queensland) Index の推移、つまり豪州東海岸 (クィーンズランド州) 出しの強粘結原料炭 Index 価格の推移を週ごとに示したものである。

図 4. Energy Publishing の CCQ(Coking Coal Queensland) Index の推移



出所) Energy Publishing

2012年6月12日の225US\$/トン以降の下落傾向も10月15日の152US\$/トンを底に、11月30日には162US\$/トンにまで値を戻した。

その後も大きな動きは見られず、年明け以降1月末まで164-165\$/トンで推移している。(Energy Publishing ホームページ)。

(3) 我が国着の輸入価格 ー下げ続けの2012年12月と下げ止まりの2013年1月ー

(3)-1 2012年12月の市況

表1. に示すとおり、12月の全輸入の価格実績は133.16 US\$/トンと、10月147.41 US\$/トン、11月138.87 US\$/トンから下げ続けた。

特に原料炭の下げは大きく、対前月比で16.72 US\$/トンも下げている。

12月における原料炭の入着量は553万トン、うち米国をソースとするものが31万トンあり、この米国からの入着価格が44.26 US\$/トン下げたことが原料炭全体の価格低下に影響を及ぼしているようだ。ちなみにこの月、米国炭の入着量はカナダを凌ぎ、豪州、インドネシアについて3番目の供給国となった。

豪州からの原料炭価格は163.43 US\$/トンと、対前月比で3.16 US\$/トンの低下に留まった。原料炭全体の下げ幅の20%弱に留まる。

しかし、我が国への入着価格を強粘結炭に限ってみてみると、表1.には現れていないが、9月225.14 US\$/トン、10月213.29 US\$/トン、11月188.51 US\$/トン、12月191.20 US\$/トンと推移している。つまり、11月は9月比で36.63 US\$/トンの下げとなっている。

2013年1-3月の豪州サプライヤーとの契約価格はさらに5 US\$/トン値引きされ、FOB165 US\$/トンで合意されたことから、2013年初頭においても強粘結炭の値下がりも継続すると見るのが妥当であろう。ただし、FOB165 US\$/トンを前提とすると、下げ余地も縮小しつつあるのではと思慮する。

表1. 我が国着の輸入炭価格（2012年10月、11月と12月、そして2013年1月との比較）

	2012年10月価格		2012年11月価格		2012年12月価格		2013年1月価格	
	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン
全輸入量	11,543	147.41	11,101	138.87	11,007	133.16	11,811	135.63
炭種別								
原料炭	14,083	179.85	13,471	168.52	12,548	151.8	13,580	155.95
一般炭	9,819	125.39	9,690	121.22	9,907	119.85	10,471	120.25
無煙炭	13,538	172.89	13,172	164.78	12,756	164.78	13,656	156.83
ソース別								
豪州	11,757	150.13	11,010	137.75	11,010	137.51	11,895	136.6
ネシア	8,980	114.67	8,979	112.32	8,966	108.47	9,838	112.97
カナダ	14,981	191.3	14,737	183.37	13,844	167.48	15,318	175.9
中国	11,760	150.17	14,164	177.18	13,544	163.85	16,707	191.86
米国	15,197	194.06	16,493	206.31	13,963	168.92	16,595	190.58
ロシア	10,308	131.63	10,167	127.18	10,853	131.3	10,776	123.74
南アフリカ	-	-	-	-	9,356	113.18	10,568	121.36
ニューゼーランド	16,977	216.79	-	-	-	-	na	na
ベトナム	16,119	205.62	11,587	144.94	13,004	157.32	12,401	142.41
モンゴル	-	-	-	-	-	225.7	na	na
モザンビーク	17,114	218.54	-	-	-	-	na	na
コロンビア	10,616	135.56	9,391	117.47	-	-	9,891	113.58
原料炭ソース別								
豪州	14,834	189.43	13,317	166.59	13,509	163.43	14,454	165.98
ネシア	9,508	121.42	9,443	118.13	9,446	114.27	10,127	116.3
カナダ	17,450	222.84	16,255	204.56	16,272	196.86	17,210	197.63
中国	10,823	138.21	-	-	13,461	162.85	na	na
米国	16,668	212.85	18,913	235.79	15,832	191.53	18,033	207.09
ロシア	13,938	177.99	12,953	162.04	14,257	172.48	12,082	138.75
ニューゼーランド	16,978	216.81	-	-	-	-	na	na
モンゴル	-	-	-	-	18,657	225.71	-	-
モザンビーク	17,115	218.56	-	-	-	-	-	-
一般炭ソース別								
豪州	10,186	130.08	10,110	126.44	10,351	125.23	10,642	122.21
ネシア	8,434	107.70	8,642	108.11	8,418	101.84	9,314	106.96
カナダ	9,141	116.73	8,018	100.3	9,236	111.74	10,759	123.55
中国	11,111	141.89	11,027	137.94	10,521	127.29	13,696	157.28
米国	8,187	104.54	6,876	86.02	9,856	119.23	10,808	124.11
ロシア	9,033	115.33	9,131	114.23	9,896	119.72	10,094	115.92
南アフリカ	-	-	-	-	9,357	113.2	10,568	121.36
コロンビア	10,616	135.57	9,391	117.48	-	-	9,891	113.58

US1\$=¥78.31

US1\$=¥79.94

US1\$=¥82.66

US1\$=¥87.08

出所) 日本貿易統計月報より作成

12月の一般炭価格は対前月比1.37 US\$/トン、対前々月比で5.54 US\$/トン下げている。一般炭価格をソース別に見ても、豪州▲1.21US\$/トン、インドネシア▲6.27 US\$/トン、カナダ+11.44 US\$/トン、中国▲10.65 US\$/トン、米国+33.21 US\$/トン、ロシア+5.49 US\$/トンと方向が定まらない。あらたな落ち着きどころを模索しているようにもみえる。

豪州サプライヤーと我が国電力会社との間に交わされた契約における一般炭価格は、2012年1月起こし契約価格115.50 US\$/トン、4月起こし115.25 US\$/トン、7月起こし94.90 US\$/トン、10月起こし 価格96.90 US\$/トンであり、これらを単純平均すると105.6 US\$/トンとなる(FOB)。また、2013年1月起こし価格については合意に至らず、詳細不明ではあるが、インデックスリンクで妥結されたとの報道がなされている。

海上輸送費を考慮すると、今後の入着価格は、12月の125.23 US\$/トンから大きく下げる余地はないように推察される。

(3)-2 2013年1月の市況

2013年1月の我が国着価格は2012年12月との比較において、全輸入量で2.46 US\$/トン、原料炭4.15 US\$/トン上昇し、一般炭も0.4 US\$/トンとわずかであるが値を上げている。

原料炭をソース別にみると、ロシア炭が33.73 US\$/トンと大きく値を下げたが、豪州+2.5 US\$/トン、インドネシア+4.5 US\$/トン、カナダ+0.77 US\$/トン、米国+15.56 US\$/トンとロシア以外の全てのソースが値を上げている。

2012年12月には対11月比でロシア以外の全てのソースが値を下げたのと、真逆の展開となっている。

一般炭については、2012年12月是对11月との比較において、6ソース中、3ソースが値上がり、3ソースが値下がりと方向感が定まらなかったのに対し、2013年1月は2012年12月に対して豪州のみが3.02 US\$/トン下げたが、他のソース全てが値を上げている。

NEWCにおける実物取引の90-100 US\$/トンボックス圏への移行とあわせて、価格の方向性は下降から上昇へ転ずる潮目が見えてきたのかもしれない。

(以下次号に続く)

お問い合わせ:report@tky.ieej.or.jp